

## 平成20年度第5回理事会議事概要

日 時 : 平成20年8月22日(金) 16:00～17:00

場 所 : 特別会議室

出席者 : 理事長 鈴木 和 夫

理事(企画・総務担当) 亀 井 俊 水

理事(研究担当) 石 塚 和 裕

理事(育種事業・森林バイオ担当) 田 野 岡 章

理事(業務承継円滑化・適正化担当) 町 田 治 之

理事(森林業務担当) 山 本 晶 三

理事(農用地業務担当) 角 田 豊

監事 林 良 興

監事 木 下 紀 喜

監事 山 崎 榮 一

総括審議役 高 木 茂

総括審議役 山 口 正 三

審議役 島 津 義 史

企画部長 志 水 俊 夫

総務部長 松 本 芳 樹

## 1. 開会

## 2. 議事

(1) 第34回農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会について  
(志水部長)

＜資料1-1を説明＞8月20日開催の林野分科会において、森林総合研究所の平成19年度の業務の実績に関する評価結果が決定した。総合評価としてはAであった。評価単位(34単位)については、sが2単位、bが2単位、これら以外はaの評定であった。評価委員会の説明では、bについては、今後に向けて頑張っていたいただきたいとの趣旨でbを付けたとのことであった。大項目についてはいずれもAであった。

また、委員会終了後、委員から自己評価について目標の設定をもっと高くするべきとのコメントや産学連携に向けて森林総合研究所は、もっとリーダーシップを取るべき、さらに国民に対する情報発信を強化すべき等のコメントがあった。

(山口総括審議役)

＜資料1-2、1-3を説明＞平成19年度の評価結果のうち、総合評価については、評価を受けるべき緑資源機構が既に解散している一方で、不祥事案により解散に至った社会的責任の大きさから、機構に対する総合評価の趣旨を具体的に伝えることの重要性に鑑み文章により示すこととなった。

評価単位(23単位)では7単位についてdとしたほかはaの評定であった。大項目については評価単位の評定を基に、達成割合を計算した結果、A、C、Dの評価になった。

評価委員会からは特にコメントはなく、中期目標期間の評価も同様であった。最終的には、親委員会で最終決定されることとなる。

(高木総括審議役)

親委員会の開催は、来週8月27日か？

(山口総括審議役)

然り。

(鈴木理事長)

本件については説明のあったとおり了承する。

本件の資料については、林野庁の公表状況を確認した後に公開するものとする。

(2) 平成20年度一般職員・技術専門職員の昇格について

(松本部長)

＜資料2-1を説明＞標記については7月18日に格付け審査会の審査を経て理事長に答申し、理事長決裁の上7月31日に辞令交付し、8月俸給日に差額支給したところであ

る。昇格者は一般職員 11 名、技術専門職員 1 名である。

(鈴木理事長)

一般職員の課長欄に 7 級と 6 級が混在する理由いかん。

(松本総務部長)

筆頭課長が 7 級、その他課長が 6 級のためである。

(鈴木理事長)

本件については説明のあったとおり了承する。

(3) その他

森林総合研究所の平成 21 年度予算概算要求の状況について説明があった。

次の第 6 回理事会は、10 月 1 日（水）開催を予定する。

### 3. 閉会